

補正予算全員賛成で可決

3月議会提出補正予算については、年度末の補正予算であることから早期執行のため、3月9日の本会議で審議し、各会計補正予算を全員賛成で可決した。

(単位：万円)

補正関係 議案番号	会計名	補正の主な内容	補正額	補正後
3号	一般会計補正予算(11号)	・議会費の報償費、旅費、交際費の減額 ・減債基金積立金等の増額 ・まめ(落花生・健康・勤勉・忠実)づくり推進事業費補助金の減額 ・多面的機能支払交付金の減額 ・新型コロナウイルス感染症対応地域創生臨時対策関連事業の減額 ・各種特別会計繰出金の調整	3442	51億0620
4号	国民健康保険特別会計補正予算(4号)～直営診療施設勘定～	人件費の減額、機器リース料の増額等	▲352	3億3364
5号	介護保険特別会計補正予算(4号)	人件費の減額、保険給付費等の増額等	▲51	9億0303
6号	後期高齢者医療特別会計補正予算(3号)	県後期高齢者医療広域連合納付金の増額	177	6987
7号	農業集落排水事業特別会計補正予算(3号)	管路補修設計及び工事費の減額等	▲129	1億0757
8号	公共下水道事業特別会計補正予算(4号)	公営企業会計基本計画策定業務負担金等の減額	▲406	1億6047
9号	水道事業会計(4号)～収益的収支～	漏水調査業務及び修繕費等の減額	▲248	1億9643
43号	公共下水道事業特別会計補正予算(5号)追加提案	消費税及び地方消費税の中間納付に係る予算組替	0	1億6047

議案番号	案件名	議案の内容
10号	金山町老人福祉センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	老人福祉センター及び農村環境改善センターについて指定管理するための条例改正
11号	金山町農村環境改善センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	

議第3号～11号に対する質疑要旨

早坂恵明議員(議第4号) 現在の診療所において、日中の救急対応はどのようになっているのか。

診療所事務長 医師の判断により受け入れ可能かどうかを判断している。

星川智子議員(議第4号) リース契約よりも買取の方が財政的にも良いのではないかと。

診療所事務長 それぞれの機材の使用方法によつて取得するべきか、リースすべきか判断している。

大場洋介議員(議第6号) 後期高齢者医療広域連合納付金増額の要因は何か。

健康福祉課長 増額の要因については、令和2年度所得割率及び均等割額の増加によること等が要因として考えられる。

寒河江宏一議員(議第3号) 新型コロナウイルス感染症予防関連での交付金で、952万円の減額の要因は何か。

政策財政監 全額使える予定で予算を編成している。国からくる補助金を全額使いきるために若干歳出の方を多く計上しているため、実績に合わせてそれぞれ減額している。

中村忠行議員(議第3号) 臨時対策交付金を使つて町の活性化、予防対策に役立てるといふのは当然だが、一方で本当に必要なものにお金を使っているのか。また、どのようなものをどのような形で地区に配布したのか。

町民税務課長 各地区の要望を伺つたうえで、次亜塩素酸を使つて機械の中で空気を綺麗にする次亜塩素酸空間除菌脱臭器や小型発電機、バッテリー式灯光器を配付した。

須藤典夫議員(議第4号) 診療の外來収入について、来年度の方策等をどのように考えているか。

診療所事務長 他の病院からの支援をいただきながら、在宅診療、訪問診療等も増やしていきたいと考えている。

矢口政一議員(議第3号) 「東北どまんかサミット」や「元氣な町づくり推進会議」等の事業について、これまでの成果をどのように捉え、今後の交流事業についてどう考えているか。

総合政策課長 2つの事業については、一定の成果を得られたというところで、今後、解散に向けて動いていくこととなる。

今後の最終的な在り方を令和3年度に於いて検討していきたいと考えている。

常任委員会の活動報告

町有施設の維持管理の方向性は

総務文教常任委員会

問 人口の変化や財政再建を踏まえた町有施設の活用計画は。

答 国の指示もあり、平成28年に町公共施設統合管理計画を策定し、令和2年に個別計画を策定している。令和3年は、旧金山ハウス、教育文化資料館(朴山分校)、体験住宅の売却、神室放牧場の中止等を予定している。また、中央公民館機能やGV神室の検討委員会や民間コンサルの分析依頼も予定している。

問 地域おこし協力隊の採用状況は。

答 地域おこし協力隊は、鈴木朋広氏、本間真生氏の2名、集落支援員は栗田伸一氏である。それぞれ、馬事業への取り組み、空き家リノベーションの活用、スポーツ振興支援等が期待される。

問 不登校者の状況は。

答 12月末で30日以上欠席があったのは、小学生2名、中学



右から(地域おこし協力隊)鈴木朋広さん、本間真生さん(集落支援員)栗田伸一さん

福寿会の見直しの内容は

～産業厚生常任委員会～

問 福寿会の見直しにより、該当者を限定される予定のようだが、参加者は何人位か。

答 9月は暑い時期でもあり、改善センターで空調が効く中での開催を考えている。約200人程と予定している。また、欠席された方々への記念品の配付等の課題を含め今後検討していきたい。

問 公用車の中では煙草は吸えないと思うが、除雪車の中はどうなるのか。

答 公用車はすべて禁煙である。当然、除雪車の中も禁煙である。

問 町ではオリンピック選手中村へ材料提供しているが、返却される材を何に利用するのか。

答 来年度末までに入つて来ると言われているが、詳細は不明。どのような形で材が返つて来るのか、また、中央公民館の再建がなくなりどのように活用するか、検討していく必要がある。



4tダンプを活用しての排雪作業